

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320232	X-21-B-1-320232	1	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	2年
中国語2cA	姜 杰裕			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

**授業目的**  
 前期に引き続き発音を重視して、単語の量を増やし、テキストを基づいて日常会話において頻出する表現をネイティブのような発音ができるように練習を重ね、実用的な会話力を身に付けていく。同時に習った文法を応用し作文練習を行うことで、高度な語学運用のための基礎を築く。中国語検定試験4級に合格を目標とする。

各回の授業内容	
<p><b>第1回</b>            【授】 前期内容の復習・後期への導入            【前・後】 事前に、前期に習った内容を復習、付属のCDを使い発音練習、新出単語を覚える。文法を予習してくる。事後にCDを利用して本文を暗記できるまで発音練習を行う。また、日本語訳をし、練習問題を解いて授業内容を復習する。予習復習に4時間。</p> <p><b>第2回</b>            【授】 「買い物1」            【前・後】 事前に、付属のCDを使い、新出単語の発音練習し意味を覚える。特に中国のお金の言い方を繰り返し練習する。新文法を予習しておく。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。本文を日本語に訳し、練習問題を解く。予習復習に4時間。</p> <p><b>第3回</b>            【授】 「買い物2」            【前・後】 事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。</p> <p><b>第4回</b>            【授】 「大学で」            【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。学習した文法を復習する。予習復習に4時間。</p> <p><b>第5回</b>            【授】 「中国旅行1」            【前・後】 事前に、付属のCDを利用して新出単語の発音練習、書き取りを行い、文法を予習しておく。事後に本文を暗誦できるくらい音読する。練習問題をやる。予習復習に4時間。</p> <p><b>第6回</b>            【授】 「中国旅行2」            【前・後】 事前に、付属のCDを利用して発音練習と書き取りを行う。新文法を予習し、日本語訳を準備しておく。事後に学習内容を復習、練習問題を解いて、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。</p> <p><b>第7回</b>            【授】 まとめ・復習・確認テスト            【前・後】 事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。ここまで習った内容をまとめて復習しておく。事後に問題点を整理する。新文法を予習し、日本語訳を準備する。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで本文の音読を繰り返す。予習復習に4時間。</p> <p><b>第8回</b>            【授】 動作の進行・持続の表現            【前・後】 事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。練習問題をやる。本文を日本語訳にする。予習復習に4時間。</p>	<p><b>第9回</b>            【授】 比較の表現            【前・後】 事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。文法を予習しておく。事後に本文を熟読し日本語に訳す。文法の問題点をまとめ解決する。予習復習に4時間。</p> <p><b>第10回</b>            【授】 「アルバイト①」            【前・後】 事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。新文法を予習しておいて、本文の日本語訳文を準備する。事後に本文を暗唱できるまで音読を繰り返す。本文の内容を復習する予習復習に4時間。</p> <p><b>第11回</b>            【授】 「アルバイト②」            【前・後】 事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行い、新文法を予習しておく。また、本文の日本語訳を準備する。事後には授業内容を復習し、暗唱できるまで本文音読を繰り返す。練習問題を解く。予習復習に4時間。</p> <p><b>第12回</b>            【授】 「まもなく休みになる」            【前・後】 事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行い、新文法を予習しておく。また、本文の日本語訳を準備する。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。練習問題を解く。予習復習に4時間。</p> <p><b>第13回</b>            【授】 検定対策1「文法編」            【前・後】 事前に、付属のCDを利用して書き取りを行い、習った文法を復習して、練習問題を解いてくる。事後には、内容をまとめて復習する。予習復習に4時間。</p> <p><b>第14回</b>            【授】 検定対策2「リスニング編・単語編」            【前・後】 学習内容を総復習する。CDを利用してリスニング練習を行い、数量詞を中心に練習する。予習復習に4時間。</p> <p><b>第15回</b>            【授】 口頭発表            【前・後】 事前に決められた発表内容を準備しておく。事後にここまで習った内容を総復習し筆記試験に備える。復習に4時間。</p> <p><b>第16回</b>            【授】 筆記試験            【前・後】 これまで習った文法や単語を用いて、中国語で作文を書く。予習復習に4時間。</p>

**成績評価方法**  
 毎回の授業で学習した単語と文法をつかて会話練習をする。定期的に小テストを行う。期末試験(40%)、授業態度・授業参加(20%)、小テスト(20%)、成果発表(20%)を合わせて総合的に成績を評価する。テストを採点して返却し、解説を行う。

**教科書・参考書**  
 『新・ゼロから学ぶ中国語一検定試験合格の道のり』 著者 周一川・郭海燕・賈曦 (同学社)

**受講に当たっての留意事項**  
 中日辞典(紙媒体の辞典ないし電子辞書)を必ず持参すること。授業の実情により授業内容を調整する場合がある。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
×		○

**学習到達目標**  
 中国語の語彙量を増やし、文法を広め、イントネーションを掴め、通じる・通用する中国語コミュニケーション能力を高めていく。

JABEE

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320232	X-21-B-1-320232	1	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	2年
中国語2cB	姜 杰裕			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

**授業目的**  
 前期に引き続き発音を重視して、単語の量を増やし、テキストを基づいて日常会話において頻出する表現をネイティブのような発音ができるように練習を重ね、実用的な会話力を身に付けていく。同時に習った文法を応用し作文練習を行うことで、高度な語学運用のための基礎を築く。中国語検定試験4級に合格を目標とする。

各回の授業内容	
<b>第1回</b> 【授】 前期内容の復習・後期への導入 【前・後】 事前に、前期に習った内容を復習、付属のCDを使い発音練習、新出単語を覚える。文法を予習してくる。事後には、CDを利用して本文を暗記できるまで発音練習を行う。また、日本語訳をし、練習問題を解いて授業内容を復習する。予習復習に4時間。	<b>第9回</b> 【授】 比較の表現 【前・後】 事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。文法を予習しておく。事後に本文を熟読し日本語に訳す。文法の問題点をまとめ解決する。予習復習に4時間。
<b>第2回</b> 【授】 「買い物1」 【前・後】 事前に、付属のCDを使い、新出単語の発音練習し意味を覚える。特に中国のお金の言い方を繰り返し練習する。新文法を予習しておく。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。本文を日本語に訳し、練習問題を解く。予習復習に4時間。	<b>第10回</b> 【授】 「アルバイト①」 【前・後】 事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。新文法を予習しておいて、本文の日本語訳文を準備する。事後に本文を暗唱できるまで音読を繰り返す。本文の内容を復習する予習復習に4時間。
<b>第3回</b> 【授】 「買い物2」 【前・後】 事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。	<b>第11回</b> 【授】 「アルバイト②」 【前・後】 事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行い、新文法を予習しておく。また、本文の日本語訳を準備する。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで本文音読を繰り返す。練習問題を解く。予習復習に4時間。
<b>第4回</b> 【授】 「大学で」 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。学習した文法を復習する。予習復習に4時間。	<b>第12回</b> 【授】 「まもなく休みになる」 【前・後】 事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行い、新文法を予習しておく。また、本文の日本語訳を準備する。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。練習問題を解く。予習復習に4時間。
<b>第5回</b> 【授】 「中国旅行1」 【前・後】 事前に、付属のCDを利用して新出単語の発音練習、書き取りを行い、文法を予習しておく。事後に本文を暗誦できるくらい音読する。練習問題をやる。予習復習に4時間。	<b>第13回</b> 【授】 検定対策1「文法編」 【前・後】 事前に、付属のCDを利用して書き取りを行い、習った文法を復習して、練習問題を解いてくる。事後には、内容をまとめて復習する。予習復習に4時間。
<b>第6回</b> 【授】 「中国旅行2」 【前・後】 事前に、付属のCDを利用して発音練習と書き取りを行う。新文法を予習し、日本語訳を準備しておく。事後に学習内容を復習、練習問題を解いて、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。	<b>第14回</b> 【授】 検定対策2「リスニング編・単語編」 【前・後】 学習内容を総復習する。CDを利用してリスニング練習を行い、数量詞を中心に練習する。予習復習に4時間。
<b>第7回</b> 【授】 まとめ・復習・確認テスト 【前・後】 事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。ここまで習った内容をまとめて復習しておく。事後に問題点を整理する。新文法を予習し、日本語訳を準備する。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで本文の音読を繰り返す。予習復習に4時間。	<b>第15回</b> 【授】 口頭発表 【前・後】 事前に決められた発表内容を準備しておく。事後にここまで習った内容を総復習し筆記試験に備える。復習に4時間。
<b>第8回</b> 【授】 動作の進行・持続の表現 【前・後】 事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。練習問題をやる。本文を日本語訳にする。予習復習に4時間。	<b>第16回</b> 【授】 筆記試験 【前・後】 これまで習った文法や単語を用いて、中国語で作文を書く。予習復習に4時間。

**成績評価方法**  
 毎回の授業で学習した単語と文法をつかて会話練習をする。定期的に小テストを行う。期末試験(40%)、授業態度・授業参加(20%)、小テスト(20%)、成果発表(20%)を合わせて総合的に成績を評価する。テストを採点して返却し、解説を行う。

**教科書・参考書**  
 『新・ゼロから学ぶ中国語一検定試験合格の道のり』 著者 周一川・郭海燕・賈曦 (同学社)

**受講に当たっての留意事項**  
 中日辞典(紙媒体の辞典ないし電子辞書)を必ず持参すること。授業の実情により授業内容を調整する場合がある。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
×		○

**学習到達目標**  
 中国語の語彙量を増やし、文法を広め、イントネーションを掴め、通じる・通用する中国語コミュニケーション能力を高めていく。

JABEE

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習